

先端理工学研究科について

1. カリキュラムの基本方針

グローバル化の進展や経済・社会構造の変動が進み外部環境が激変する中、高等教育に期待されるのは、社会の変化に対応し、持続可能な社会に貢献できる人材の養成である。こうした社会の要請に応えるべく、本研究科においては、高度な専門知識のみならず、幅広い教養と倫理意識を備えた科学技術者を育成するため、自身の専門分野から学際的な分野まで幅広く科目履修が可能となる弾力的なカリキュラムを構築することによって、異分野にも知識の幅を広げ、主体的に学び、創造することのできる人材を養成する。

2. カリキュラムの特色

＜修士課程＞

学生の知的好奇心にこたえ、修了後の社会への「出口」をイメージしやすいように、特論科目をグループ化した「プログラム」を設定する。このプログラムは、コースの壁を超えて、テーマに基づいた科目グループの設定を行うもので、「出口」をイメージできる系統的科目群として構成し、学生の系統的履修・学際的履修に寄与する。

＜博士後期課程＞

「分野横断型の専門教育」促進する先端理工学研究科の理念を具現化するため、コースの垣根を超えて博士後期課程在籍学生が自身の研究内容を互いに紹介し、ディスカッションする科目「サイエンスコミュニケーション」を必修科目として設置する。

3. 修了後の進路

＜修士課程修了者＞

修士課程を修了した人材は、「科学技術」に関わる専門技術職や実践的な研究・開発職に就くことが期待される。

＜博士後期課程修了者＞

博士後期課程を修了した人材は、「科学技術」に関わる高度な専門知識及び多角的な問題解決能力を有する高度専門技術職、研究・開発職に就くことが期待される。

以上